

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	参加会場
【テーマ・理念・性格等について】		
1	当日の懇談会で県から言われた「三重県全体が博物館」というのが、重要なキーワードではないでしょうか。これを前面に出していただければと思います。	四日市
2	“総合”の名前を新博物館名に入れてもらいたい。	四日市
3	三重の伝承、古いしきたり、方言、祭り等も博物館活動に含めてほしい。	四日市
4	すべての土台は自然の歴史と、自然史の中で誕生した人間との歴史が舞台となるべき。	四日市
5	これからの博物館は、自然環境の保全にもっと重点をおくべきです。どのようにしたら自然を残していけるのかを研究し、それを啓発していくことも必要です。	四日市
6	文化とは、自然をも含めつつ、トータル的なものと思っている。自然にも十分な配慮をお願いしたい。	四日市
7	県民の文化力を高める上で、博物館は、重要な役割を担う。真剣で公平な討議をお願いしたい。	四日市
8	少子化、環境、外国人との共生など現在の問題にも取り組んでもらいたい。大学、企業と協力して研究を行うとともに今ある資料も残しておくこと。	津市
9	三重の人物の研究を深め、情報発信をしてほしい。教科書や映画に載るには、その前提となる研究や文学が必要。	津市
10	平成14年に「自然系博物館の整備を求める請願」が採択されていることから、自然系について、施設の半分の要員と資料室の完備を求めます。具体的な回答がほしい。	津市
11	県内の自然調査のリーダー的な役割を博物館が努めるのが責務と思う。それができる体制も作ってほしい。	津市
12	博物館は、ミュージアムの比率を高くするのではなく、研究、資料の蓄積、環境の保全、保護などの役割も不可欠である。	津市
13	総合博物館であっても、中は人文系、自然系と明確に区分けして、専門研究組織であることを示してほしい。	津市
14	数年おきに博物館紀要を出版し、研究内容を県民に発表してほしい。毎年、中間進行状況を展示したりホームページで公表できるところはしてほしい。	津市
15	県下各地に、その地域の特性を生かした「テーマ博物館」を官民一体となって配置する。その総括指導機関としての「センター博物館」を津地区におく。	伊勢市
16	「博物館」と聞けば、「古臭い」というイメージであったが、「これが博物館か」と驚く新しいイメージ転換をした新博物館でありたい。インパクトが強く集客力のある魅力一杯の、差別化を図った三重県ならではの博物館建設を逃してはならない。	伊賀市
17	このところ(国・県・私的な)、時代の夢を叶えてきたものを思う存分見て、触れて、そして未来へ進む大切な事に気づくことに博物館の意義がある。何か新しい発見があるそんな場所になっていくといい。基本的な概念は、見て、遊んで、知って、会って、夢を持つ「見遊知会夢(ミュージアム)」。	伊賀市
18	新博物館は何のために、誰のためにつくるのかというポイントを踏まえて素案を考え直す必要があると思う。	伊賀市
19	まずはテーマだと思います。他にない何を三重県としてどういうコンセプトにしているか知りたい。	伊賀市
20	博物館の周囲に人が集まる工夫をしないと注目しつづけてもらえないのではないかと。	伊賀市
【立地場所について】		
21	魅力ある博物館づくりのためには、施設の周囲に名所旧跡があることが望ましい。また、博物館、美術館、図書館などの周りにウォーキングコースを作ると、人もたくさんくる。	四日市
22	交通アクセスの良い場所に建設してほしい。そうでなければ、無料のコミュニティバスを走らせて少子高齢化や地球環境に配慮してほしい。	四日市
23	南北格差を埋めるためにも、県中央での立地は避けるべき。集中しすぎる。	伊勢市
24	県文化施設の大半が津市に集中しているため、伊賀に博物館を建設してほしい。無理で有れば、公文書保存施設を博物館の分館として伊賀につくり、移動展示にも利用できるようにしてもらいたい。	伊賀市
25	伊賀に博物館を建設されたい。(最低 分館規模でほしい)	伊賀市
26	伊賀に分館、志摩方面に臨海実験場の設置を要望します。	伊賀市
27	県の施設は、県土のバランスを考慮して、伊賀に立地してはどうか。	伊賀市
28	過去の伊賀地域からの運動(S60年設置要望、H9年伊賀分館要望)今や何ら受け止められていない。	伊賀市

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	参加会場
【博物館の建物について】		
29	新博物館の施設自体の寿命をどの程度に考えているのか。収蔵機能の面からも検討課題と思われるが。	四日市
30	ハコモノが造れないなら、県の各機関を集約して、空いたスペース(旧県民局・現県民センター)を利用して、分室をつくることを検討しては如何でしょうか。	伊賀市
【展示について】		
31	本物をみせるセンター博物館。デジタル化、レプリカもいたしがたないが、本物の感動を、驚きを伝えるものにしてほしい。	津市
32	小学校1～3年生ぐらい人は、生きているものを見るのが楽しいと思います。展示してあるもののクイズを作っているなどところに設置すると、興味をもってもらえると思います。	津市
33	三重県と中国の姉妹県である河南省に関して、言及していない。中国の重要文化財級の資料を展示すべき。	伊勢市
34	これまでの資料(県立博物館の実践してきた)を生かす工夫を十分考えられたい。	伊賀市
35	100年間楽しめる博物館としてほしい。使えなくなるのは施設面なので、展示内容はどんどん新しくしていく工夫だと思います。	伊賀市
【調査・研究について】		
36	県内の自然史と、現在までの調査研究史が網羅されているべき。	四日市
37	現在までの標本類及び調査報告書並びに各種文献、報告等の資料が網羅されているべき。	四日市
【事業費・運営費について】		
38	博物館が「持ち出し」であることは自明です。問題は、どれだけ持ち出すのかについての明確な方針と合意である。	四日市
39	予算の内容(9月の補正予算)について知りたい。	津市
40	次年度以降の予算編成上のスケジュール(設計費 年度、土地買収費 年度) (おおよその見込みでよい。県の姿勢がどこまで本腰なのかを知りたい)	津市
41	三重県発祥の企業に、寄付金を募ってほしい。	伊勢市
42	設置総予算額は、どの程度か	伊勢市
43	質と量の両面から、学芸員を確保しなければならないが、これに係る費用も膨大になることを認識しておくべき。また、人件費以外のランニングコストもかかる。	伊勢市
【収蔵・収蔵物について】		
44	消え行く仏教文化・民俗を県が中心となって、収集・保存・継続出来るようにしていただきたい。	四日市
45	個人の収蔵品の扱いをどうするのか。	四日市
46	建造物がなくなるのは、文化財、文化遺産の破壊(蔵書、収蔵品、民俗用具が亡くなる)。	四日市
47	小さな資料館、博物館等の資料・印刷物、紀要などは、県内の分は県立博物館で収集保管していただきたい。	四日市
48	県内に生息する動植物の標本を可能な限り多数収集保管し、誰もが活用できるような体制を整えるよう努力していただきたい。	四日市
49	今ある資料を新しい県立博物館ですぐに利用できるような形で、整理しておく必要がある。	伊勢市
50	素案には、三重の自然に係わるモノ資料の収集・保存について一言もふれられていない。	伊賀市
51	重要文化財指定の古伊賀(焼)はともかくとして、古伊賀(焼)以前のものや、時代の新しいものの中にある価値ある歴史文化資産が散逸してしまうのが、残念です。	伊賀市
52	まちかど博物館など、歴史的な資料を個人で収集されている方も高齢化しており、いずれ散逸してしまうおそれがあるので、そういった資料を受け入れていただけなのか。	伊賀市
53	民俗芸能の映像を収集して、閲覧に供するようにはできないでしょうか。	伊賀市
54	産業としての万古焼ではなく、文化としての萬古焼を取り上げてもらいたい。	伊賀市
【新博物館のネットワーク機能について】		
55	市立等との博物館等との連携、役割分担についての考え方はいかがですか。	四日市
56	最大の効果を生むための”知恵”は既存の活動体との連携効果を増進することと考えます。	四日市

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	参加会場
57	コア、インデックス機能を期待します。	四日市
58	ハブ博物館 他県の例を参考に 独自の構想を今後の課題となっていますか。	伊勢市
59	地域に残る貴重な資料の検索や調査がIT等を駆使してできること。	伊賀市
60	ハブ博物館について、各地域の施設を充実させ、本館は、それらをサポートする情報センター的な役割を果たすべきではないか。各地域館には、それぞれ特色あるテーマ設定をする。	伊賀市
【県民参画について】		
61	専門学芸員の研究道場として、民間を含めて広く参加でき公開されているべき。	四日市
62	設置後の研究、活動、保管等も、官民協議で。	伊勢市
63	元気な高齢者の力を利用して、サポートメンバーを運用していく方向も考えてみてください。世代間の交流を図ることによって、文化力が向上すると思います。	伊賀市
64	具体的な構想を検討する段階で、一般県民や各サークルの代表を交えたメンバーで考えていくようにしてほしい。	伊賀市
65	レッドデータブックで示された種の保存について、博物館を中心とした活動が必要であるが、未解明の部分があると思われますので県内で活動しているサークルと共同して探索していく必要がある。	伊賀市
66	広く、県内のサークル育成のために野外活動について、重点をおいてほしい。伊賀市には森林公園があるが、ここの活動をより活発にして住民が多く参加していけるようにしてほしい。	伊賀市
67	展示と運営は人材である。「生誕360年芭蕉さんがゆく秘蔵のくに伊賀の蔵びらき」の時のように人材を掘り起こし、無償で仕事をしてもらえる人間を育成することを望みます。	伊賀市
【学芸員について】		
68	自然科学部門として、三重県が取り上げている環境問題を第一に考慮し実施しなければならない問題だと思うが、これらの基礎調査が何らされていない。学芸員は、特別の事業がない限り、地域の自然科学調査研究に取組み、標本資料の集積と管理、調査資料の文献の維持管理にあたり、三重県の自然科学の資料は、県の博物館ですべて分かるような施設にするべき。学芸員は、一生この仕事にあたり、3年や5年で異動するような研究の場ではない。	四日市
69	総合博物館を実現させるためには、学芸員の定員をできるだけ多くして、自然と人文系の人数を半々にしていただきたい。	四日市
70	すぐれた学芸員が熱意を持って、伝えたい心、つなぎたい心を発揮できるようシステムと人員配置を工夫されたい。	伊賀市
71	「館長が替われば館も変わる」といわれないためにも、学芸員を育てる実行力のある館長、豊かな発想力を持つ館長としてもらいたい。	伊賀市
72	県民とともにということテーマにするならば、研究を独自にしている民間の人に注目して、学芸員として、もしくは資料提供者と県民有志を集めてください。	伊賀市
【管理・運営について】		
73	今後の運営に県民の力(NPO、ボランティア等)を活用できる仕組みを作ってほしい。	四日市
【公文書館(機能)について】		
74	博物館の資料室は、人文、考古、自然系標本、研究文献等とし、公文書は、博物館が保管すべきではない。図書館なり県庁書庫にでも保管すべきである。	津市
【現博物館について】		
75	何らかの形で再開してください。	津市
76	古い現博物館も、倉庫で使うとか、リフォームするなど大切に、有効利用をしてください。	伊賀市
【文化審議会委員について】		
77	素案の策定にあたって、有識者や専門的知識人の先生方は、どのように子どもたちの意見や要望を反映させたのか、是非お聞きしたい。	四日市
78	(質問) 審議会委員のメンバー数と各専門分野の種類と、その分野別専門委員数は、	伊賀市

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	参加会場
【次世代育成について】		
79	人間力の視点から見て、次代を担う子どもたちに、博物館のモノや資料のさまざまな活動とは、どのような活動か、明記してほしい。	四日市
80	子ども達がよるこぶ博物館をお願いしたい。	津市
81	科学を多様で豊富な三重の自然に目を向け、三重の自然資産を守っていける三重の将来を担う子どもをターゲットとして「自然史博物館」にすべきである。	伊賀市
82	次世代を担う子ども達に発信していくには、何度も繰り返し行ってみたいようなテーマを持った、みえの魅力をアピールするような内容をもった博物館にすべきだと思います。	伊賀市
【文学・文学館について】		
83	伊勢神宮、古典文学など無形民俗資料もぜひ対象に。	四日市
84	文学館機能の充実を。受け皿が十分でないので散佚していくのを、指をくわえてみているのはつらい。	伊賀市
【感想等】		
85	女性の視点が欠けているのではないか。(具体的な課題を指摘できないが)懇談会出席者を見ても女性が少ない。	四日市
86	前回に比べて内容が充実し、説明も含めて、まとまった懇談会だったと思いました。	津市
87	非常に立派な、熱心な意見に感服しました。次回、意見交換会があれば、お知らせください。	伊賀市
88	県民懇談会が単に県民の意見を聴取したという実績(アリバイ工作)づくりとしてだけにつかわれることのないように。	伊賀市
【その他】		
89	全体の構想は大賛成です。	四日市
90	現在も含めて、全県的(市町も含めて)に月曜日休日をやめてもらいたい。	四日市
91	検討材料の資料(関連法規や博物館法、その他)が少なすぎる。	四日市
92	自然・環境＝「景観」 建造物が入る。	四日市
93	県民の声を直に聞く姿勢が県民を動かすもともになると思います。	四日市
94	起案責任、結果責任を明確にする。税金が垂れ流しになった時に誰が責任をとるのか。	四日市
95	審議委員のみなさんには自然科学についての識者がおられないので、この組織から改めて選定しなおさなければ、自然科学を併せた総合博物館の建設は、ありえない。	四日市
96	議会への根回しはやっているのか。	津市
97	博物館は研究専門部門であるのに、審議会委員に自然系だけ専門家を除外しているのは遺憾である。早急に、数名入れるべきである。	津市
98	新しい博物館は、山梨県立博物館と大阪市自然史博物館を合わせた素晴らしい博物館を希望します。二つの施設だけでなく、そこにいる研究者も参考にしてほしい。	津市
99	三重県の博物館の現状と他県の博物館を見学(博物館の裏側見学)をするツアーを企画されれば、参加したい。	津市
100	ソフト面とハード面に分けて議論すべきというご意見は、今後の博物館のあり方を考えていく上での基本的な姿勢になると思う。	伊勢市
101	博物館をつくり直す話は、何十年來のものですが、なかなか実現しません。建設を急いでください。	伊賀市
102	新博物館の素案の中に遠足・社会見学が取り入れられていますが、伊賀からの見学をしやすくなるシステム作りを検討してほしい。	伊賀市
【三重の文化振興方針(仮称)に関して】		
103	温故知新で新しい文化振興には、まず地元の伝統文化の理解がなければ進展しません。	伊賀市
104	各分野の専門家の方々の意見を審議会は、もっと参考にすべきです。	伊賀市